

「『沖縄の塩』展示会」で周知活動を行いました。

塩と暮らしを結ぶ運動では、2019年7月3日（水）から15日（月・祝）まで沖縄県立図書館（那覇市）で開催された「『沖縄の塩』展示会」（主催：沖縄県工業技術センター）において、周知活動を行いました。その様子をご紹介します。

県内に多くの製塩企業が存在する沖縄県工業技術センターでは、製塩にかかる技術の向上と、様々な技術課題の解決等を目的として、「製塩技術研究会」を開催しています。

今回の「『沖縄の塩』展示会」は、製塩技術研究会を母体に、県内製塩企業や塩関係の企業・団体、研究機関等の産学官の連携や交流を通じて、県内の製塩産業の振興を目的とするもので、研究開発や沖縄の塩の歴史に関する展示のほか、一般の方向けの塩の講演会や、製塩企業向けのセミナーなども行われました。

沖縄塩元売株式会社（全国塩元売協会会員）が、この展示会に参加し、塩と暮らしを結ぶ運動の周知活動を行いました。

図書館内の展示コーナーにポスターを掲示し、塩と暮らしを結ぶ運動や熱中症対策をPRしたほか、土日祝日には、運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBook』、クリアファイル、ウチワ、マグネット、塩飴などを来場者にお配りしました。

期間中に、約500名の方に冊子などをお渡しし、塩と暮らしの関わりについて、お伝えすることができました。

